

事務事業名	本庁部局 庁舎施設整備事業		所属部	総務部	所属課	管財課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名 富山照夫
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	坂田裕二	電話番号 0854-40-1025 (内線) 2372
	目的対象	A)市民 B)行政機能	意図	公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。		
	基本事業	〈012〉業務と組織機構の効率化		予 算 科 目	0:110:0:7 0:530:0:1	大 事 業 名 中 事 業 名 庁舎施設整備事業 庁舎施設整備事業
目的対象	行政機能	意図	効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
本庁舎・分庁舎	本庁舎・分庁舎において、施設整備又は既存施設の建築・電気・機械の設備更新を計画的に進めるもの。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R04 年度 ~ R06 年度)	該当施設の解体、基金財産の買戻し、工業用水道施設の買取り 公用車及び職員駐車場、倉庫棟の整備に係る準備
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) 木次団地の解体、第7駐車場(土地開発基金財産)の買取り、 工業用水道第2ポンプ所の買取り	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 解体後の跡地の取扱いを関係課で議論し、できるだけスムーズに解体に着手できるように努めたきた。 工業用水道の廃止に伴い、不要となった施設の利活用を検討し、本庁舎倉庫棟及び駐車場として使用することを決定した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 用地取得面積	m ²			3,666.0	
イ 設計委託	式		1		
ウ 解体による減少面積	m ²			4,496.0	
エ 舗装工事	m ²				5,978.0

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
工事請負費	334,115千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
用地費	183,584千円		県支出金	千円				
事務費	5,073千円		地方債	千円	0	5,400	496,600	110,800
合計	522,772千円		その他	千円	0	0	26,000	5,800
			一般財源	千円	0	1,600	172	35
		事業費計		千円	0	7,000	522,772	116,635

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	木次団地解体後の敷地は駐車場として活用し、以て借地の解消を図り、コスト縮減につなげていく。
② 事業実施するうえでの課題	有害物質調査等法規制が年々厳しくなり、これに伴う費用の増加が著しい。
③ 課題解決に向けた改革改善等	市全体で公共施設解体が進む中で、財産の処分や利活用に向けた取り組み。